

釧路南ロータリークラブ会報

第32回 例会報告 2018.3.20 通算1715回

《移動例会 ～ 釧路ベイロータリークラブ》

・本日のプログラム

「 釧路ベイロータリークラブ訪問例会 」

担当 奉仕プロジェクト委員会



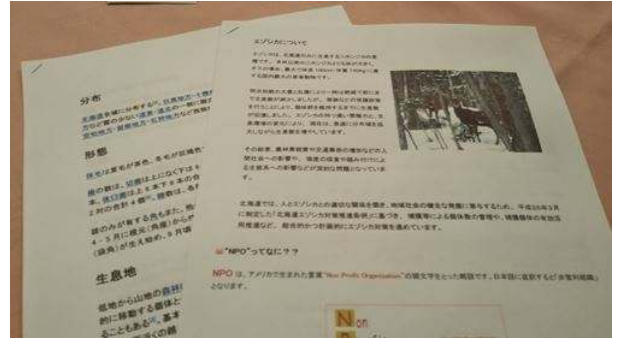
釧路ベイロータリークラブ鈴木敏夫会長挨拶



NPO 釧路市猟友会 和歌山代表理事より御挨拶



NPO 釧路市猟友会中川氏より卓話



ライフル銃の薬莖



散弾銃の薬莖



鹿の角は石灰質だそうです

エゾシカについて

エゾシカは、北海道のみに生息するニホンジカの亜種です。本州以南のニホンジカよりも体が大きく、オスの場合、最大で体長 190cm・体重 150kg に達する国内最大の草食動物です。

明治初期の大雪と乱獲により一時は絶滅寸前にまで生息数が減少しましたが、禁猟などの保護政策を行うことにより、個体群を維持するまでに生息数が回復しました。エゾシカの持つ高い繁殖力と、生息環境の変化により、現在は、急速に分布域を拡大しながら生息数を増やしています。

その結果、農林業被害や交通事故の増加などの人間社会への影響や、強度の採食や踏み付けによる生態系への影響などが深刻な問題となっています。



北海道では、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与するため、平成26年3月に制定した「北海道エゾシカ対策推進条例」に基づき、捕獲等による個体数の管理や、捕獲個体の有効活用推進など、総合的かつ計画的にエゾシカ対策を進めています。

❗️“NPO”ってなに??

NPO は、アメリカで生まれた言葉“Non Profit Organization”の頭文字をとった略語です。日本語に直訳すると「非営利組織」となります。



しかし「非営利＝営利を目的としない」団体には政府や自治体も含まれるので、“市民が主体となった組織”という意味も込めて、「NPO＝民間の非営利組織」と訳す方がより正確な意味を伝えられるかもしれません。

NPO という言葉の持つ意味は広く、人によってイメージするものが異なりますが、一般的には市民の発意に基づき自主的に活動する、市民が主体となった「市民活動団体」を指して NPO という言葉を使うことが多いです。広い意味では、社会福祉法人や社団・財団、生協や労働組合なども NPO に含める考え方もあります。またアメリカでは、私立の病院や学校、民間社会福祉事業団体、消費者団体のような「自己の経済的利益を目的としない」「社会的利益(公益)のために」活動する民間団体のすべてを指すのに NPO が使われており、日本の NPO とは違った印象を受けますね。

平成28年度エゾシカの推定生息数等について

1 推定生息数

- ・東部と西部地域を合わせた生息数は、最大であった平成22年度と比較して23万頭減の45万頭と推定され、平成23年度以降減少。
- ・東部地域は、最大であった22年度と比較して15万頭減の19万頭。
- ・西部地域は、同じく22年度と比較して8万頭減の26万頭。
- ・南部地域は、最小で2万頭、最大で10万頭と推定。

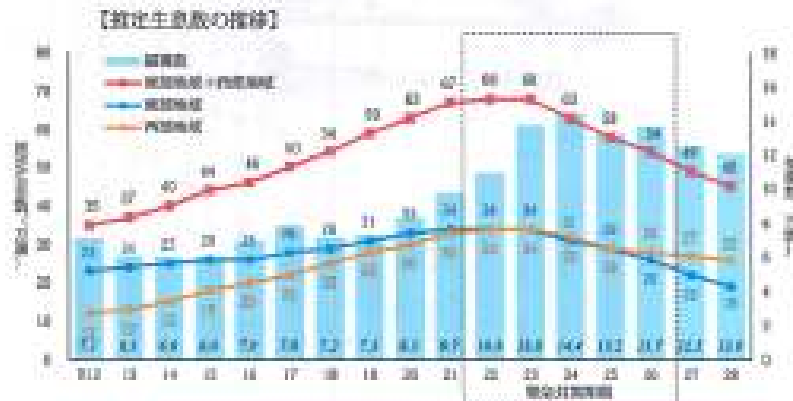
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	23年度比
推定生息数	68万頭	66万頭	60万頭	58万頭	56万頭	49万頭	45万頭	-23万頭
(東部地域)	34万頭	34万頭	31万頭	28万頭	26万頭	23万頭	19万頭	-15万頭
(西部地域)	34万頭	34万頭	32万頭	29万頭	28万頭	27万頭	26万頭	-8万頭
(南部地域)	-	-	-	-	-	2~8万頭	2~10万頭	-

※平成21年度以前の推定生息数については、データの信頼性より精度が高まる途途に据って修正している。
 ※東部地域（オホーツク、十勝、釧路、根室）、西部地域（空知、石狩、胆振、日高、上川、留萌、空知）、南部地域（根室、釧路、檜山）

2 捕獲状況

- ・捕獲数は、前年比0.5万頭減の12.0万頭。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年増減
捕獲数	10.9万頭	13.8万頭	14.4万頭	13.2万頭	13.7万頭	13.3万頭	12.0万頭	-0.9万頭



・次回のプログラム

3月23日（金）

「お客様招待例会」夜間例会

会場 ホテルクラウンヒルズ釧路 18:30～

担当：会員増強委員会

今週の会報担当：早津壮史会員